

## 令和4年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：公開講座「発達障がいフォーラム  
(新しくなったWISC-Vを教育の現場でどう活用できるか)」
2. 申請者：三山 岳 (愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 准教授)
3. 運営種別：共催 (愛知県立大学生涯発達研究所/地域連携センター、  
瀬戸市教育部学校教育課、  
瀬戸市児童発達支援センター (発達支援室))
4. 開催日時：令和4年8月30日 (火) 13:00~15:00
5. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K棟 多目的ホール/オンライン
6. 講師：大六一志氏 (放送大学 客員教授)
7. 参加者数：84名 (会場35名、オンライン49名)

### 【概要】

講師は日本で最も活用されている児童への知能検査であるWISCの刊行委員会メンバーの一人をお呼びした。WISCは現在、WISC-Vという第5版が2021年度に刊行され、指数のまとまりの変更などもあり、教育現場や医療現場でどのように活用を進めていけばよいか、現場のニーズがとても高い内容であった。

### 【講座の様子】



### 【チラシ】

発達障がいフォーラム

愛知県立大学  
Aichi Prefectural University

## 新しくなったWISC-Vは 教育の現場で どう活用できるか



児童・生徒の知能を測定するツールとして広く活用されているWISCの日本語版が2022年に第5版として改訂されました。これまでの第1版とどこが異なるのか、またその測定結果はどのように教育現場で活用できるのか。WISC-V刊行委員会のメンバーであり、放送大学客員教授の大六一志先生にお話しいただきます。

日時 2022年8月30日(火) 13:00~15:00

場所 愛知県立大学 (オンライン併用)  
学術文化交流センター地下1階 多目的ホール  
(東別館棟(9号)1号・地味博記念公園)駅下車徒歩5分)

講師 大六一志氏 (放送大学客員教授)  
東京大学大学院人文科学研究所心理学専攻修了  
放送大学客員教授、WISC-V刊行委員会委員

著書 『障害児・障害者心理学特論(改訂新版)：福祉分野に関する理論と支援の展開』放送大学教育振興会、2019年

参加費 無料 申込先 愛知県立大学 地域連携センター  
URL: <https://www.aic.ac.jp/ouac/p/reken/regiona/kanasas/0011320.html>  
または右のQRコードよりお申し込みください。

定員 60名(現地)  
(オンライン100名)

締切 8月22日(月) お問い合わせ 愛知県立大学 研究支援・地域連携課  
E-mail: [reken@bu.aichi-ouac.jp](mailto:reken@bu.aichi-ouac.jp)

【共催】 愛知県立大学 (生涯発達研究所、地域連携センター)  
瀬戸市教育部学校教育課、瀬戸市児童発達支援センター (発達支援室)

